

*Air  
Refresh*  
エア-リフレッシュ

エア-リフレッシュプロ車両別施工用マニュアル

OBERON  
CO.,LTD.

<http://www.oberonjp.co.jp/>

# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編

例) VOXY:ZRR70、75 ノア:AZR70、75



A/CスイッチON、風向:上下の状態<sup>※</sup>でエンジンを止め、リフトアップをしてください。

エンジン付近に出ている排水ドレンホースに、付属の注入ノズルが入るところまで、挿入してください。専用ゴム栓(別途用意)で栓をしていただくにより確実に作業できます。

車両下部エンジン付近(助手席側)



拡大



ドレンプラグ(ゴム栓)



【ご注意】一部車輛の中に、注入ノズルが数センチしか挿入できない車輛がございます。その際はドレンプラグ(ゴム栓)を使用した作業をおすすめします。  
また、車輛によっては、ほんの少し排水ドレンホースを引っ張りながら注入ノズルを挿入することで、排水ドレンホースが直線になり注入ノズルがしっかり差し込める車輛があります。

ボトル(エアリフレッシュプロ)をよく振り、  
ボトルの噴射口とチューブをしっかりと接続し、  
ボトルのボタンを強く押し下げ、エアリフレッシュプロ注入してください。

【ご注意】ボトルのボタンはワンプッシュ固定式です。  
最初は軽く押してムースを少し出して見て、きっちりムースが入ることを確認した後に、カチッと音がしてボタンが返ってこないところまでしっかり押し切ってください。



1~2分でムースが全て噴射したことを確認し、そのまま約10分放置して下さい。

エンジンを始動後、A/CスイッチをONのまま、内気循環・風量最大にて約5分放置して下さい。  
以上で作業は終了です。

### (注意点)

車両によってはドレンホースが曲がっており、チューブがエバポレーターまで到達しない車両もありますが、本製品はムース状で約37倍に膨らむためユニット全体に行きわたります。  
\*ドレンプラグ(ゴム栓)を使用すると、より効果的に施工を行うことができます。

# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~ 車種例 ~

ヴィッツ : SCP10



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



ヴィッツ : NCP13、15



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



イスト : NSP60



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



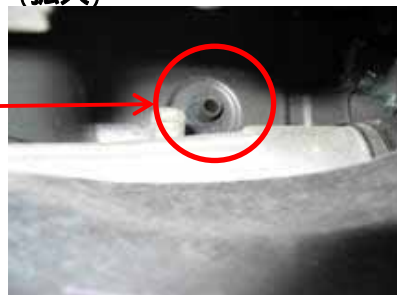
ラクティス  
: SCP100、NCP100、105



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



bB : NCP30、31、35



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~ 車輛例 ~

ルミオン : NZE151N



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



ウィッシュ: ZNG10G、14G



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



スパシオ : AE111N



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



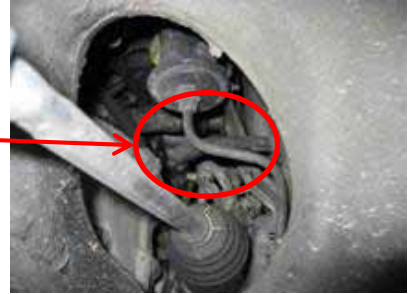
カリブ : AE115G



フロント左タイヤハウス付近(助手席側)



(拡大)



ゼリカ : ZZT230、231



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~ 車輛例 ~

RAV4 : ACA31W、36W

車両下部エンジン付近(助手席側)



ハリアー: ACU30W、35W

車両下部エンジン付近(運転席側)



(拡大)



ヴァンガード : ACA33W

車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



ハイラックスサーフ: RZN185

エンジンルーム(助手席側手前)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~ 車輛例 ~

ビスタ : SV40、43



エンジンルーム(助手席側の低位置)



(拡大)



ウィングダム : MCV20、21



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



アリオン : ATZ240T



車両下部エンジン付近(助手席側)



(エンジンルーム上から)



下、上の両方接続可能

クラウン : JZS130



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



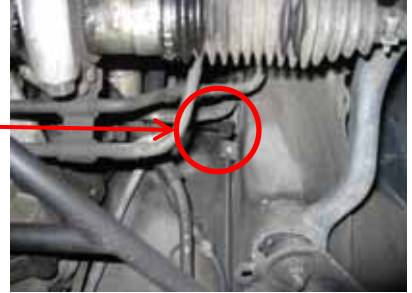
アリスト : JZS160、161



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~車輦例~

イブサム : SXM10G、15G 車両下部エンジン付近(助手席側)



エスティマエミーナ、ルシーダ : TCR10G 車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



ハイエース(レジアスエース) : RHZ、KZH100~120 車両下部フロント付近(助手席側)



(拡大)



ノア : AZR60、65 車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



アルファード : MNH10 車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~トヨタ車以外の車輛例~

DAIHATSU  
ハイゼット : LE-S320V



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



SUZUKI  
ワゴンR : MC21S  
アルトワークス : HA22S



エンジンルーム上から(助手席側)



(拡大)



HONDA  
フィット : GD1, GD2,  
GD3, GD4



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



HONDA  
エリシオン : RR1



(車両下部エンジン付近(助手席))



(拡大)



MITSUBISHI  
ランサー : CS2A



車両下部エンジン付近(中央部分)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【一般タイプ】

## 排水ドレンホースからの施工編 ~トヨタ車以外の車輛例~

NISSAN  
プリメーラ : QP11



(車両下部エンジン付近(助手席))



(拡大)



NISSAN  
リバティー : PM12, PNM12



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



NISSAN  
ティーダ : C11, NC11, JC11



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



NISSAN  
エルグランド : ATE50  
APE50, APW50, ALWE50



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



NISSAN  
エルグランド : ME51



車両下部の助手席下付近



(拡大)



NISSAN  
テラノレグラス : KD-JRR50  
E-JLR50



エンジンルーム上から(助手席側)



(拡大)



インプレッサ : GG2、3、9



車両下部エンジン付近(助手席側)



(拡大)



# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【特殊タイプ】

## 室内助手席側からの施工編・・・\*排水ドレンホースが見当たらない車両の場合

例) エスティマ : ACR50、55

ハイエース(レジアスエース)  
:KDH201、206 TRH200、216、221



A/CスイッチON、風向:上下の状態ではエンジンを止め、センターコンソール下部を外します。

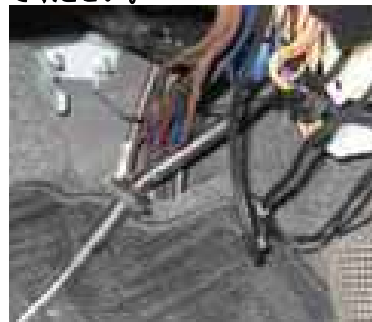
1)クリップを外し、カバーを外してください。



2)排水ドレンホースが見えます



3)排水ドレンホースを引き抜いて、チューブを挿入してください。



ボトル(エアリフレッシュプロ)をよく振り、ボトルの噴射口とチューブをしっかりと接続してください。

ボトルのボタンを強く押し下げ、エアリフレッシュプロ注入してください。

**\*フローアへの液ダレを予防するため、ドレンプラグ(ゴム栓)をご使用下さい**

注入後、約10分間放置してください。

(チューブを外す際、液が出てきますので受け皿等を準備してください)

エンジンを始動後、室内消臭の為、窓ガラスを閉め、A/CスイッチをONにし、内気循環・風量最大にて約5分放置してください。

以上で作業は終了です。

### (注意点)

エアリフレッシュプロ注入後、チューブを外す作業の際に受け皿が必要になります。(チューブから逆流した液がフロアマットへの付着防止のため)

# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【特殊タイプ】

## 室内助手席側からの施工編

\*排水ドレンホースはあるが車内からの方が確実な施工ができる車両の場合

トヨタ bB

CBA-NCP30、CBA-NCP31、CBA-NCP35

トヨタ ポルテ

CBA-NNP10、CBA-NNP11、CBA-NNP15



A/CスイッチON、風向:上下の状態で作エンジンを止め助手席側のドレンホースを抜きます。

1) 助手席側グローブBOX右下(センターコンソール左下)にドレンホースのジョイント部があります。



フローへの液ダレを予防するため  
ドレンプラグ(ゴム栓)をご使用下さい

2) 排水ドレンホースを引き抜いてチューブを挿入してください。



ジョイント部分



注入口



ドレンホース周辺にカバー  
等はありません。

ボトル(エアリフレッシュプロ)をよく振り、ボトルの噴射口とチューブをしっかりと接続してください。

ボトルのボタンを強く押し下げ、エアリフレッシュプロを注入してください。

**\*フローへの液ダレを予防するため、ドレンプラグ(ゴム栓)をご使用下さい**

注入後、約10分間放置してください。

(チューブを外す際、液が出てきますので受け皿等を準備してください)

エンジンを始動後、室内消臭の為、窓ガラスを閉め、A/CスイッチをONにし、  
内気循環・風量最大にて約5分放置してください。

以上で作業は終了です。

(注意点)

エアリフレッシュプロ注入後、チューブを外す作業の際に受け皿が必要になります。(チューブから逆流した液がフロアマットへの付着防止のため)

# エアリフレッシュプロ施工マニュアル【特殊タイプ】

## エアコンフィルターからの施工編・・・\*排水ドレンホースが見当たらない車種の場合

マークX:GRX120、125

ゼロクラウン:GRS180、181、182

レクサス IS250、350 など



セルシオ・マジェスタ(型式未確認)についても、同様の作業が必要と思われます。ご注意ください。  
A/CスイッチON、風向:上下の状態ではエンジンを止め、エアコンフィルターを外します。

### 1) 助手席グローブBOXを外す

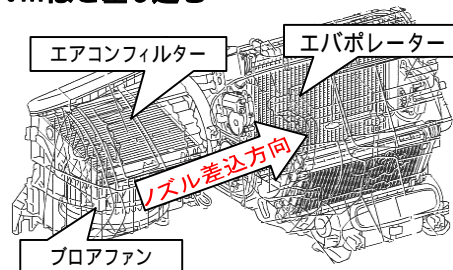


### 2) エアコンフィルターを外す



エアコンフィルターの取り外し方法については、各車両のマニュアルを参考にして取り外してください。

### 3) プロアファンの隙間よりチューブをエバポレーター方向へ30cmほど差し込む



【ご注意】上左の構成図のように、エバポレーターはプロアファンを正面に見たとき、時計の3時の方向にあります。注入ノズルを差し込む時は、エバポレーターに一番近い場所から差し込んで施工してください。また、ノズルはどこまでも入りますので30cm程度で止めて下さい。

ボトル(エアリフレッシュプロ)をよく振り、ボトルの噴射口とチューブをしっかりと接続してください。

ボトルのボタンを強く押し下げ、エアリフレッシュプロ注入してください。

注入後、約10分間放置してください。

エンジンを始動後、室内消臭の為、窓ガラスを閉め、A/CスイッチをONにし、内気循環・風量最大にて約5分放置してください。

以上で作業は終了です。

### (注意点)

チューブがエバポレーター方向に注入できているかを確認するには、ファンをわずかに手で回し、チューブの引っ掛かりを感じるくらいの抵抗があればOKです。

本製品はムース状で約3.7倍に膨らむためユニット全体に行きわたります。

\*注入口を誤って泡がエアコンライン外へ流出しないよう充分注意してください。